



ドクターヘリへの搭乗体験



龍神マブヤーによるAED操作説明



応急手当体験コーナー

9/9

救急フェア2018

みんなで支える救急医療

救急医療や救急業務に対する理解を深めるため、9月9日を「救急の日」、この日を含む一週間を「救急医療期間」と定め、救急業務の普及啓発運動を全国的に実施しています。

本市においても、救急出動件数が増加傾向であることから、救急車の適正利用や応急手当の普及啓発をテーマとした「救急フェア2018」をイオン具志川店にて開催しました。

心肺蘇生体験コーナーには、多くの親子連れらが訪れ、人形を使った救命措置を体験し、緊急時の対応について熱心に学んでいました。

また、ドクターヘリや消防車の展示も行われ、多くの来場者でにぎわっていました。

8/21

うるま市に貧困対策の拠点 日本財団と「第三の居場所」事業 協定締結



【左から】(一社)りあんの山城代表理事、日本財団の尾形理事長、島袋市長、沖縄大学の仲地学長

日本財団が、貧困対策の事業の一環として、家庭・学校に次ぐ「第三の居場所」をうるま市内に開設するにあたり、同事業の協定締結式が行われました。

「第三の居場所」事業は、生活困窮家庭の子ども達に食事の提供や学習支援を行い自立する力を伸ばし、貧困の連鎖を断ち切ることを目的としています。

日本財団は全国でこの事業を展開しており、全国で8カ所目。県内ではうるま市が初となります。

また、沖縄大学と連携して、子ども達の学力や生活習慣など、事業の支援の効果検証を行っていきます。

当初の3年間は日本財団が運営費を助成し、4年目以降は市に事業が引き継がれます。

島袋市長は「3年間着実に事業を展開し、今後につなげていきたい」と、貧困対策への意気込みを述べました。

9/7

市消防団、見事なポンプ操法で栄冠 中部地区消防団操法大会で優勝



優勝を果たしたうるま市消防団

消防団員の技術や士気の向上を目的に開催される「第44回沖縄県消防協会中部地区支会消防団操法大会」が行われ、うるま市消防団は小型ポンプ操法（女子）が優勝を果たし、応用操法（男女混合）でも準優勝と、他種目においても優秀な成績を納めました。

8/21

地域福祉の向上に役立てて 市社協より土地無償譲渡



譲渡契約に調印したうるま市社協の平川会長(左)

市社会福祉協議会からうるま市へ石川社会福祉センター跡地が無償譲渡され、契約調印式が市役所で行われました。

同跡地は、地域福祉の増進や地域活性化につながる活用を目的として譲渡され、市は今後、関係部署の意見を取り入れながら地域の発展につながる利活用を進めていくこととなります。

8/31

第14回うるま市畜産共進会



肉用山羊の部 審査の様子

肉用牛の部 審査の様子

第14回うるま市子牛（繁殖雌）共進会が石川ドームで開催されました。肉用牛の部70頭、肉用山羊の部34頭の出品がありました。

【肉用牛の部】

市長賞：宜野座 嗣敏（字兼箇段）
（名号：みつや）

【肉用山羊の部】

市長賞：川端 正一（みどり町）
（名号：波2）

9/11

華麗な演奏で栄冠 伊波蘭菜さんピアノで全国金賞



受賞報告を行う伊波さん(中央)

8月に東京都にて開催された日本最大規模のピアノコンクール「第42回ピアノ・ピアノコンペティション」において、伊波蘭菜さん（開邦高2年・石川在）が、高校生以下の部門（F級）で金賞を受賞し、島袋市長へ喜びの報告を行いました。

伊波さんは、「様々なジャンルが弾きこなせるピアノリストになりたい」と、今後の夢を力強く述べていました。